



“non cessant clamare quotidie UNA VOCE dicentes: Sanctus, Sanctus, Sanctus.”

2013年11月30日

プレスリリース

国際ウナ・ヴォーチェ連盟発
速報

国際ウナ・ヴォーチェ連盟、ジャームズ・ボーグル氏を新会長に選出。

伝統的なローマ・カトリック典礼を愛好する信徒団体を代表する国際組織である国際ウナ・ヴォーチェ連盟（FIUV）の2年に一度の総会で、弁護士で前英国カトリックユニオン会長のジェームズ・ボーグル氏が新しい会長に選出されました。

総会の期間中には、サン・ピエトロ大聖堂内の聖歌隊の聖堂（Chapel of the Choir）で連盟のためのミサと晩課が祝われました。ミサと晩課の司式者の中には、ヴァルター・ブラントミュラー枢機卿とグイド・ポッツ大司教が含まれていました。

ボーグル氏は、「私は選出されたことを非常に光栄に思いますし、前会長及び前会長とともに献身された全ての人々、連盟とカトリックの伝統のために活動してきた全ての人々に感謝したいと思います。私はそれら全ての人々に深く感謝します。」

連盟の新代表は、新福音宣教が有効であるためには信徒が教会の歴史の根源と伝統を体験し理解することが重要であることを強調しました。

ボーグル氏は、特に若い人々が教会の根源を再発見することの重要性を認識していると述べました。「それは発見という名の楽しい航海です。さらに、カトリック信徒が自分たちの根源を理解していないなら、彼らが福音宣教する事は困難です。もしあなたが福音宣教しようとした時、人々は『あなたの信仰と教会の根源は何でしょうか？』とあなたに尋ねるでしょう。

もし答えが「私は知りません。けれども、私はあなたが私たちに加わるべきだと思います」というものであったならば、あまり説得力があるものとは言えないでしょう。もし私たちが自分たちの宗教やその宗教の根源が何であるかについて適切な歴史的な視点を持たなければ、どうして誰かが信仰に来ることがあるのでしょうか？。伝統的なミサ典礼を特に愛好していなくても、人々はその歴史について知りたいものです。それは、福音宣教に真剣に関心のある人が無視できるものではありません。

ボーグル氏は、伝統的なラテン語ミサをローマ典礼ミサの認められた二つの形式の一つとして復興した2007年の自発教令「スンモールム・ポンティフィクム」においてローマ教皇ベネディクト16世によって授けられた恩恵を用いて新しい役割を果たすばかりではなく、新福音宣教の中に統合されるその成果を見たいと述べました。

ウナ・ヴォーチェ連盟は教会典礼の財産を守るために1965年に設立されました。聖座によって認められたその信徒運動は、その主要な目的をローマ典礼の伝統の存続を

確実にすること、単声及び多声聖歌の利用を促進し保護する事でありました。

最近、クロアチア、ラトビア、キューバ、ブラジルの団体が連盟に加入しました。

「誰もが知っているように、私達は教会に完全に忠実です」とボーグル氏は述べました。「そして私たちは教会の主流の一部です。私たちは教会とともに、そして教会の中で活動しています。私の前任者たち、エリック・デ・サヴェンテム博士、マイケル・デイヴィス氏、ラルフ・ジーベンビュルガー氏、「フラ」フレドリック・クライトン・スチュアート氏、ジャック・オーストベーン氏、レオ・ダロッシュ氏、皆、間違いなく聖座に忠実でした」

総会の期間中、カスティリオン・ホヨス枢機卿猊下は筆頭講演をされました。

「猊下は連盟とその活動を暖かく支援されています」とボーグル氏は述べました。

イタリアのノルシアにある新サン・ベネデット修道院院長であるドン・カッシアン・フォルソム師（ベネディクト会）は、教会典礼の伝統に関する彼自身の経験の経歴について詳しく講演されました。

FIUV評議会に選出された他の人々については、ジョセフ・ショー博士閣下（イングランド・ウェールズのラテン語ミサ協会(LMS)会長）がFIUVの会計担当に、トーマス・マーフィー氏が事務担当に選出されました。マーフィー氏はFIUVメンバーのアイルランドの団体、聖コンレス・カトリック文化遺産協会に属しています。

新副会長はフェリペ・アラニス・スアレス氏（ウナ・ヴォーチェ・メキシコ）、ポール・フルニエ氏（カナダ・ラテン語ミサ協会）、マルチン・ゴーラ氏（ウナ・ヴォーチェ・ポロニア）です。

新評議員はオトン・M・アルヴェス氏（ウナ・ヴォーチェ・ナタルーブラジル）、エドゥアルド・コロソ氏（ウナ・ヴォーチェ・プエルト・リコ）、クリストファー・コルデイロ氏（ウナ・ヴォーチェ・南アフリカ）、レオ・ダロッシュ氏（ウナ・ヴォーチェ・スコットランド、前会長）、ファビオ・マリノ氏（ウナ・ヴォーチェ・イタリア）、カルロス・アントニオ・パラド氏（聖ヨゼフ・エクレジア・デイ協会－フィリピン）、ロドルフォ・バルガス・ルビオ氏（ローマ・エテルナ、スペイン）、ゴドウィン・ゼレブ氏（プロ・トリデンティーナ・マルタ）です。

オレグーマイケル・マルティノフ氏（ウナ・ヴォーチェ・ロシア）とマシュー・シエルホルン氏（LMS）は評議会に選出されました。

「私たちの総会に参加していただいたカスティオン・ホヨス枢機卿猊下、ブランドミューラー枢機卿猊下、及びポッツ大司教に深く感謝します」新会長は述べ、さらに「伝統的な典礼が2007年7月以来、励みになる進歩を遂げていることを非常に喜んでいきます。ますます多くの司教達が伝統的なミサを祝っており、多くの若い司祭と神学生が教会の神聖な財産を発見しています。教会の伝統の復興は、日々ますます確かなものになってきています。教皇ベネディクト16世と私たちの現在の教皇フランシスコが私たちに与えてくださったすべての支援について、私たちは非常に感謝しています」

終

詳細については国際ウナ・ヴォーチェ連盟の事務担当、トーマス・マーフィー氏に連絡されたい。

電子メール：secretary@fiuv.org

写真：



ジェームズ・ボーグル氏（FIUV新会長）とカスティヨン・ホヨス枢機卿

他の写真は、ここから入手できます：

<http://www.flickr.com/photos/josephshaw/sets/72157637670666096/>

詳細については国際ウナ・ヴォーチェ連盟の会長、ジェームズ・ボーグル氏からも。

電話番号： +44- (0) 20-8942-5009

携帯電話： +44- (0) 7773-818394

ファックス： +44- (0) 20-7583-0579

電子メール： president@fiuv.org

ウェブサイト： <http://www.fiuv.org>

**TMTK
HJKT**